

# 令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名 大正区  
学校名 泉尾北小学校  
学校長名 奥田 ユキミ

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・学校では、第6学年 40名

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率は国語科において全国および大阪市平均より約-3%、算数科においては約-10%という結果となった。

また、平均無回答率においては全国平均および大阪市平均に比べてどちらの教科も高く、特に国語科に関しては大阪市の2倍以上となっている。（本校：7.1%、大阪市：3.5%）

児童質問紙では「いじめを許さない」とする意識の高さが表れていた。一方、家庭学習時間の短さや生活リズムの乱れなど、生活習慣に課題が見られた。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

## [国語]

昨年度より研究教科を国語科に設定し「書くこと」を主題として取り組んでいる。その成果が表れてきていることが学習指導要領B「書くこと」の結果より明らかとなった。（全国平均より+3%、大阪市平均より+5.5%）しかし、(2)「情報の扱い方に関する事項」において全国および大阪市の平均より約9%ほど下回っている。そのため「原因-結果」のような情報と情報の関係、また図などによる語句と語句の関係に着目する視点を取り入れた授業展開を行っていく。

## [算数]

学習指導要領の領域全てにおいて全国および大阪市平均を下回った。特にA「数と計算」は10%以上も下回る結果となった。朝のモジュール学習や家庭学習の内容を精査、改善することで基礎・基本の再徹底を図ることが最重要課題である。

質問紙調査より

「自分には、よいところがありますか」の項目が年々向上（今年度肯定的回答 79%）していることから、日々互いの良さを認め合う風潮が学校全体に広がっていると考えられる。一方、喫緊の課題として「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」（肯定的回答 65.8%）、「家で自分で計画を立てて勉強していますか」（肯定的回答 55.3%）など、生活習慣の改善があげられる。

## 今後の取組(アクションプラン)

- ・国語科、算数科における基礎・基本の習得を確実なものにするため、家庭学習の見直しを推進する。そのためにブロック推進事業における家庭用ドリルを活用し、家庭学習計画の一助となるようにする。
- ・家庭と連携し早寝早起きやスクリーンタイム（動画などを見る時間）などの生活リズムの見直しを促すようにする。
- ・放課後学習「I z u k i t a キャンパス」の内容精査および改善。
- ・「民間事業者を活用した課外学習支援事業 つつじ塾」の勧奨。

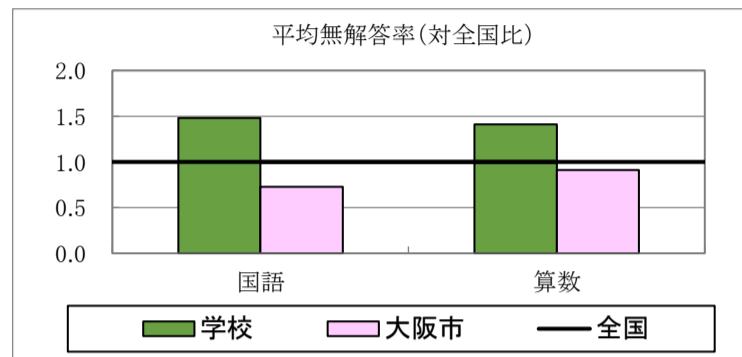
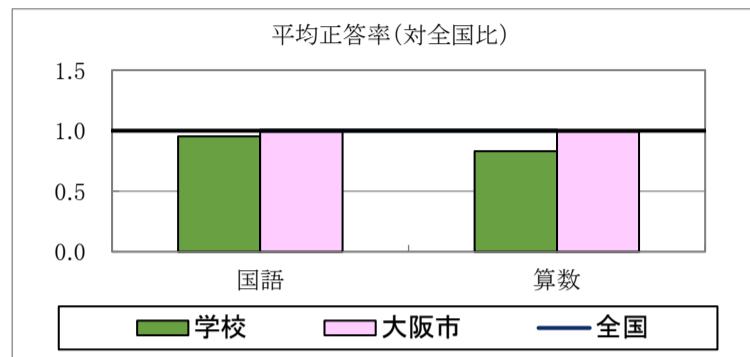
## 【 全体の概要 】

### 平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	64	52
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5

### 平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	7.1	4.8
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4

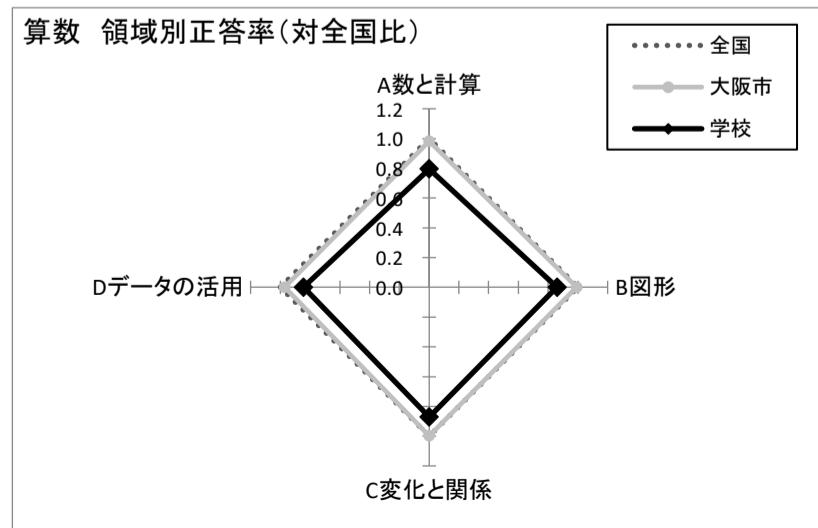
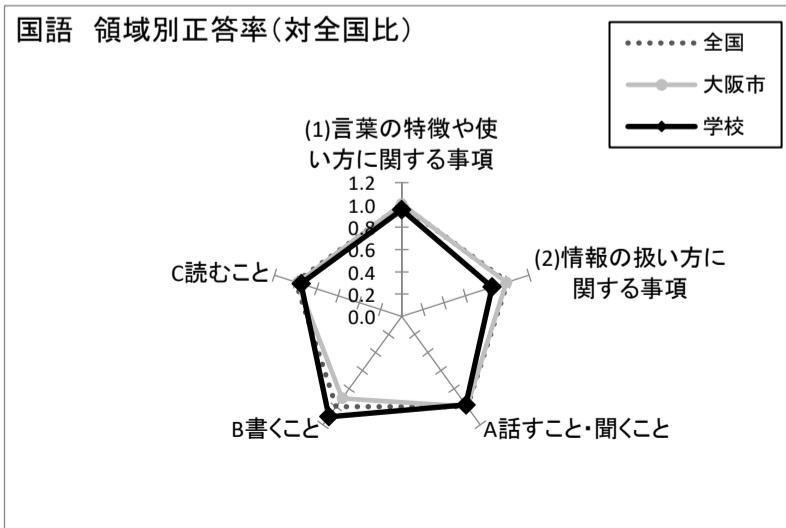
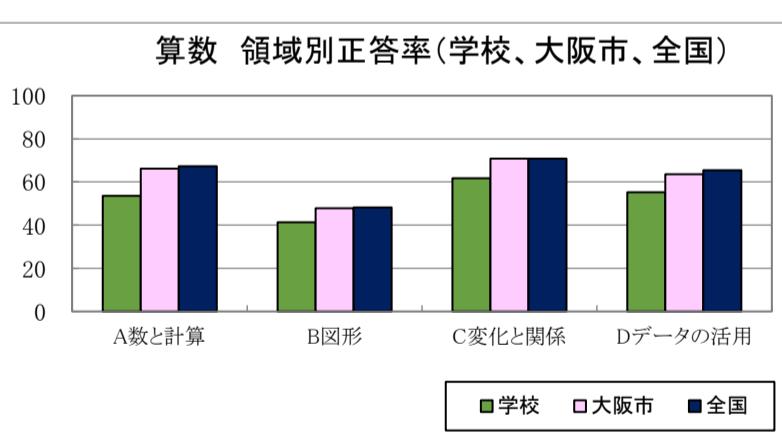
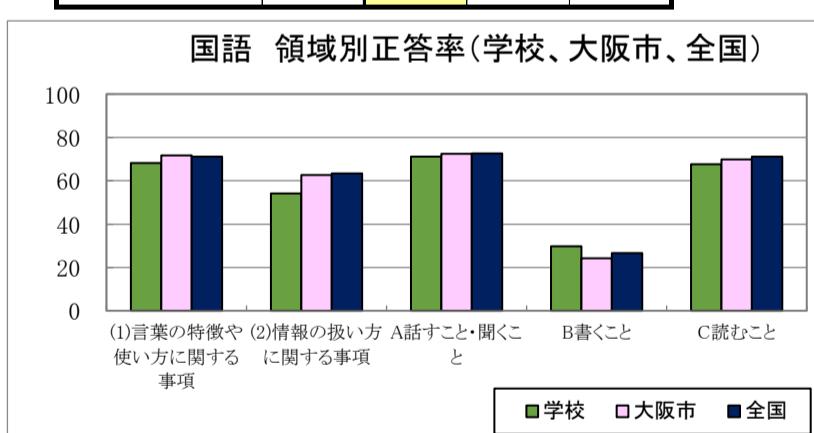


## 【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	68.1	71.7	71.2
(2)情報の扱い方に関する事項	2	54.1	62.6	63.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	71.2	72.4	72.6
B 書くこと	1	29.7	24.2	26.7
C 読むこと	3	67.6	69.9	71.2

## 【 算 数 】

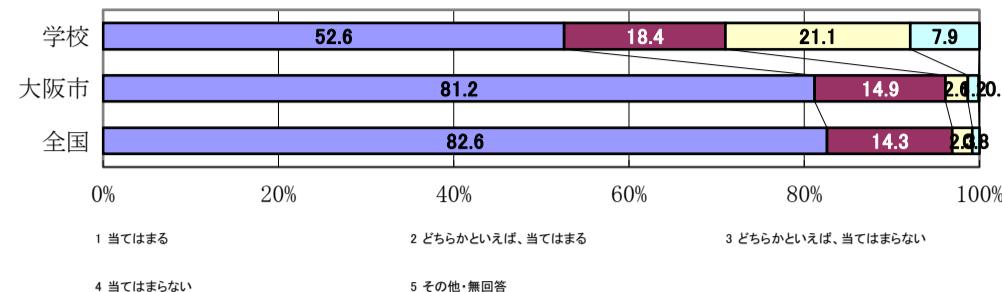
学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	53.5	66.1	67.3
B 図形	4	41.4	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	61.8	70.8	70.9
D データの活用	3	55.3	63.6	65.5



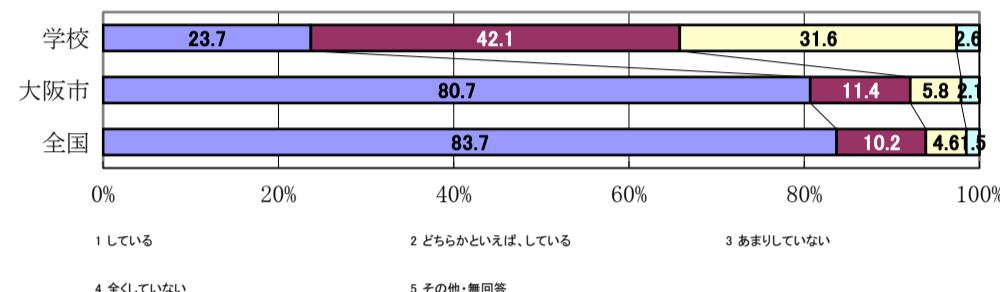
## 児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

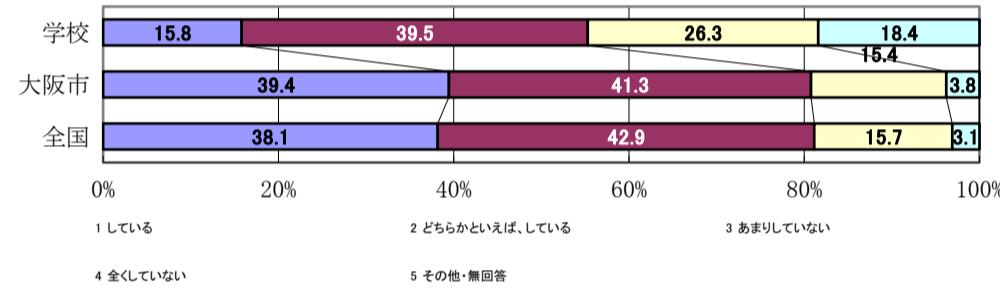
質問番号
質問事項
9
いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思う



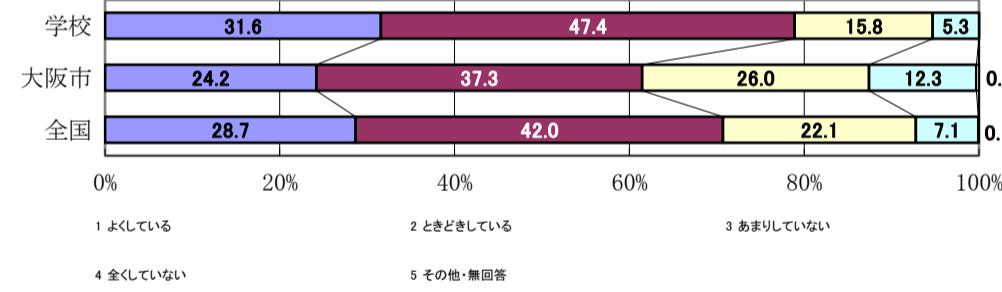
1
朝食を毎日食べている



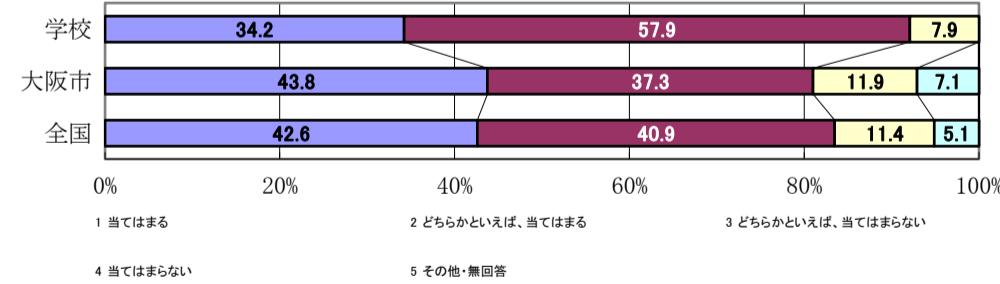
2
毎日、同じくらいの時刻に寝ている



16
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含みます)



4
自分には、よいところがあると思う



(4-1)

(2-0)

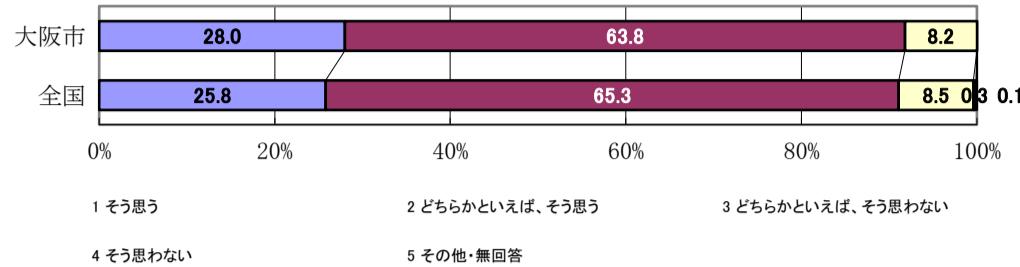
## 学校質問紙より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項
8

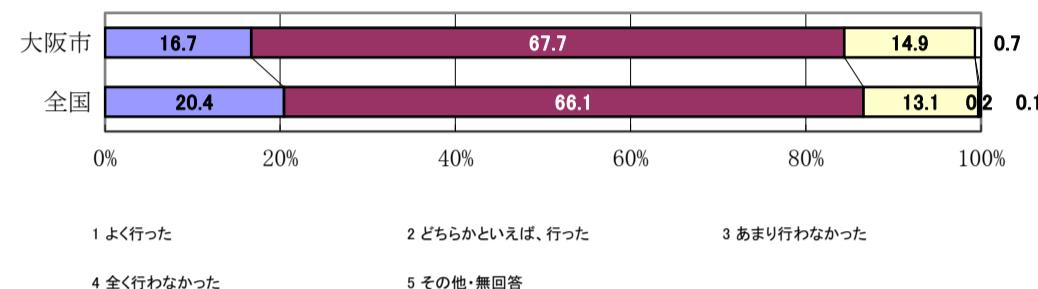
調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強している

### 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



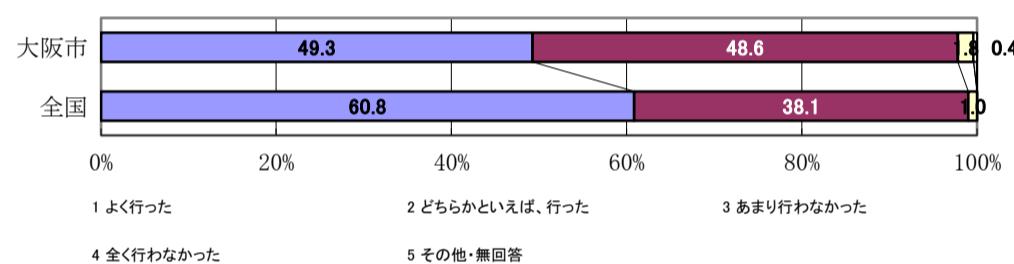
11
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした

### 学校 「よく行った」を選択



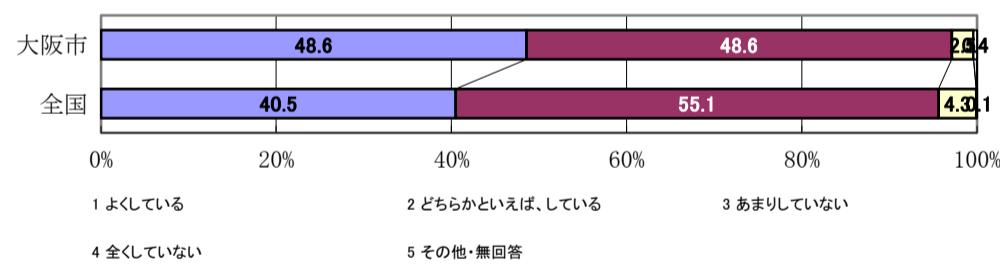
13
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行った

### 学校 「よく行った」を選択



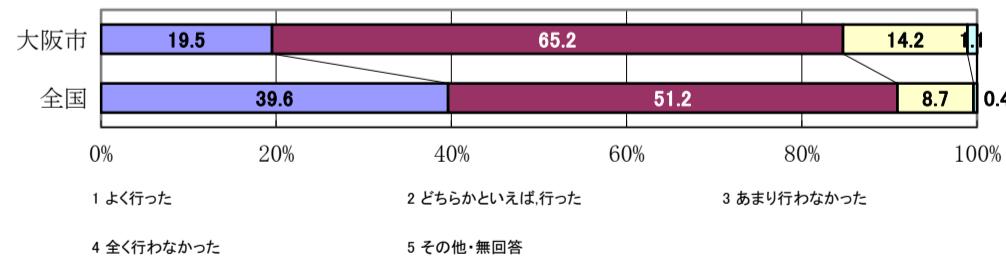
21
言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいる

### 学校 「よくしている」を選択



75
調査対象である第6学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか

### 学校 「どちらかといえば、行った」を選択



(5-1)

(2-0)